

(別添様式1)

平成28年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組実績

機関・団体等の名称

(一社)日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称	学校のカリキュラムに組み入れた『現場見学会』を計画的に開催
<p>1. 実施時期 今年度は10回開催した。</p> <p>2. 実施場所 日建連中国支部会員企業の現場。</p> <p>3. 対象者(参加見込又は参加者数) 主に、工業高校・高専・大学生を対象としている。</p> <p>4. 共催・単独等の状況 8回は、日建連中国支部単独で開催した。 土木学会中国支部・広島高速道路公社との共催で、各々1回開催した。</p> <p>5. 事業等の内容 日建連中国支部が独自に作成した『現場見学受入可能一覧表』を毎年3月末に、中国5件の大学・高専・工業高校に郵送し、新学期のカリキュラムに組み入れた、現場見学会を計画的に開催しました。(『現場見学受入可能一覧表』は、中国地整のホームページで一部公開しています)</p> <p>6. 期待される効果(実施結果:効果) ものづくりの現場を直接見てもらう事により、建設業のダイナミックスさを肌で感じてもらい、建設業の魅力を感じて頂き、将来我々の業界に入職して頂く事を期待している。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他 平成29年度建設産業魅力発信の取組みも、学校のカリキュラムに組み入れた『現場見学会』を計画的に開催を予定。</p>	

注1: 提出資料は電子データとしてください。

注2: パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

平成 28 年 3 月 18 日

学校関係者 宛

国土交通省 中国地方整備局 建政部
建設産業調整官 大庭 義徳

(一社) 日本建設業連合会 中国支部
支部長 木村 普

『現場見学会受入可能一覧表』の送付について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、格別のご支援とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

さて近年、建設産業を取り巻く環境は大きく変化し、建設産業が若者にとって魅力ある職場として認識されず、若者の就職の減少に繋がっているところであります。

このような中、官民一体となって建設産業への新規入職促進を含む建設産業の担い手の確保及び育成のあり方を検討しており、建設産業の魅力の発信についても推し進めているところであります。

今般、多くの学生の方々に建設産業の仕事が本当に「おもしろく、素晴らしい」事を理解して頂き、ものづくりの魅力を少しでも感じて頂きたく『現場見学会受入可能一覧表』を作成致しました。

是非、新年度のカリキュラムに現場見学を導入頂き、建設現場を通じて「ものづくり」の魅力を一人数多くの学生の方々に感じてもらえば幸いと思っております。

ご多用中のところ恐れ入りますが、ご検討の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 現場見学会に関して

①現場見学の実施日が決まりましたら、三週間前までに日本建設業連合会中国支部事務局の岡田まで、連絡をお願い致します。

日建連中国支部 事務局 TEL 082-243-3017

②日建連中国支部事務局から現場見学会引受会社に連絡し、現場見学を実施出来るか確認致します。

③日建連中国支部事務局から現場見学会が実施出来るか、出来ないか連絡致します。

以上

高速 中山IC現場で見学会

5号線 笠岡工高環境土木科3年生39人

連 支部
日 中

日本建設業連合会中国支部（木村善之助部長）は25日、広島市東区中山西の高速5号線道路新設工事（中山IC）現場で見学会を開いた。見学会には岡山県立笠岡工業高校環境土木科の3年生39人が参加し、大規模な土木工事の現場で建設業の魅力に触れるとともに作業員からやりがいなどを聞いた。

現場見学に先立ち、日建連と建設業の魅力発信を連携する中国地方整備局建設部の品川隆建設産業調整官が「実際に道路建設現場を見て、疑問に思ったことを働いている人に質問してほしい。取得している資格がどのよう

に役立つかどうか、今後の進路の参考になれば」と思いこを挨拶した。

続いて、主催者を代表して岡田和夫事務局長が「建設業はものさつくるタイナミックな仕事をしている。きついところもあるが、その反面でやりがいや達成感がある。現地で建設業の魅力やものさつくりのすばらしさを理解し、全土重約21万㎡のう

ち約3万㎡を掘削した。1日に50台のタンクが入入している状況」と工事概要や現場状況の説明を受けた後、生徒らは雨の降る中、現場に移動して法面整形や掘削土を搬出する様子を見て回った。

見学会を終えた生徒からは「仕事で辛いことや厳しいことは何か」「J-Vはどのように組み仕事をす

るのか」「休日や残業のことが気になるが、やりがいを見つけた」と多くの質問があり、日建連中国支部は「行政と一緒に取り組みながら将来は4週8休にしたい」と応えた。

広島高速5号線は安芸府中道路と広島駅を直結する延長約4・0kmの自動車専用道路、完成すれば広島高速1号線を經由して山陽自動車道広島東ICと直結し、広島駅周辺市街地と広島空港間の高速性・定時性を確保するとともに広島市北東部地区の交通渋滞の緩和を図る。延長約4・0kmのうちトンネル工区は延長約1・8km、二葉の里から牛田の約1・4kmをノールド工法、中山の約0・4kmをNATM工法を採用する。

同工事は5号線整備事業のうち中山IC部の道路改良、発注者は広島高速道路公社、施工は五洋・沼田J-V、工事内容は道路土工21万4190㎡、法面工一式、擁壁工一式、ブロック積工一式、排水構造物工一式、舗装工一式、橋台工3基。

請負金額は16億4300万円、工期は27年10月16日から30年3月31日、4月末現在の進捗率は8・9%。

日建連中国支部は中国地方整備局や業界団体等で構成する中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のHPから会員の見学会可能な現場情報を発信しているほか、建設業の魅力発信を重点事業と位置付け、学生や一般の方に建設業の正しい理解と、ものさつへのタイナミックな現場をライブで見てもらうため、支部独自に現場見学会受入可能一覧表を作成し、中国5県の大学・高専・工業高校に郵送することで、学校カリキュラムに組み入れた現場見学会の参加を呼びかけている。



見学する生徒



集合写真

説明する木本J-V所長



日本建設業連合会(日建連)中国支部(木村晋支部長)は16日、府中地区揚水管その他新設工事(2次)(施工：鐵高組・錦建設)の

徳山高専2年生 36人が現場見学 土木の魅力体感

で、現場見学会を開いた。見学会には徳山工業高等専門学校土木建築科の2年生36人が参加し、写真、シールド工法による土木現場を体感した。

見学会に先立ち、日建連中国支部の岡田和夫事務局長が「皆さんが普段勉強していることが、実際の現場でどのように行われているのか理解していただき、少くもお役に立てれば幸いです。見学会を通し、ものづくりや建設業の魅力を感じていただき、将来、皆さんがわれわれの業界に入職後、発進立坑に移動し坑内

で、現場見学会を開いた。見学会には徳山工業高等専門学校土木建築科の2年生36人が参加し、写真、シールド工法による土木現場を体感した。

日建連中国府中地区揚水管工事で

長が「皆さんが普段勉強していることが、実際の現場でどのように行われているのか理解していただき、少くもお役に立てれば幸いです。見学会を通し、ものづくりや建設業の魅力を感じていただき、将来、皆さんがわれわれの業界に入職後、発進立坑に移動し坑内

日建連中国支部が現場見学会

広島工大 建設業の魅力に触れる 3年65人

高速5号線の中山IC新設工事



見学のもよう



記念撮影

日本建設業連合会中国支部(木村晋支部長)は10月22日、広島市東区中山西の高速5号線道路新設工事(中山IC)現場で「発注者と連携した現場見学会」を開いた。広島工業大学都市デザイン工学

科3年生65人が参加し、大規模な土木工事現場で建設業の魅力に触れた。現場見学会に先立ち、発注者を代表して広島高速道路公社の泉谷伸副理事長がこの機会に都市

高速道路について関心を持ってほしい。日ごろ学んでいる内容と現場は違うと思うが、基本は同じで関係していることを見てほしい」と挨拶した。

続いて、日建連の戸田和彦常務執行役が「建設業界は高齢化や人手不足が懸念されている。若者の入職に向けて現場見学会や労働環境の改善に努めているほか、新たな技術を採用して生産性を上げる取り組みを進めている。皆さんが将来土木の道に進み、業界で活躍することを願っている」と呼びかけた。

施工を担当する五洋・沼田J.V.の本和博所長が工事概要や現場の進捗状況を説明したあと、学生らは雨が降る中、現場に移動して橋台の基礎杭の作業状況を見てまわった。広島高速5号線は安芸府中道路と広島駅を直結する延長約4.0kmの自動車専用道路、完成すれば広島高速1号線を経由して山陽自動車道広島東ICと直結し、広島駅周辺市街地と広島空港間の高速性・定時性を確保するとともに広島市北東部地区の交通渋滞の緩和を図る。延長約4.0kmのうちトンネル区は延長約1.8km、二葉の里から牛田の約1.4kmをシングルD工法、中山の約0.4kmをNATM工法を採用する。

同日建連中国支部は中国地方整備局や業界団体等で構成する中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のHPから会員の見学可能な現場情報を発信しているほか、建設業の魅力発信を重点事業と位置付け、学生や一般の人に建設業の正しい理解と、ものづくりのダイナミックな現場をライブで見てもらうため、支部独自に現場見学会受入可能一覧表を作成し、中国5県の大学・高専・工業高校に郵送することで、学校カリキュラムに組み入れた現場見学会の参加を呼びかけている。

同日建連中国支部は中国地方整備局や業界団体等で構成する中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のHPから会員の見学可能な現場情報を発信しているほか、建設業の魅力発信を重点事業と位置付け、学生や一般の人に建設業の正しい理解と、ものづくりのダイナミックな現場をライブで見てもらうため、支部独自に現場見学会受入可能一覧表を作成し、中国5県の大学・高専・工業高校に郵送することで、学校カリキュラムに組み入れた現場見学会の参加を呼びかけている。

同日建連中国支部は中国地方整備局や業界団体等で構成する中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のHPから会員の見学可能な現場情報を発信しているほか、建設業の魅力発信を重点事業と位置付け、学生や一般の人に建設業の正しい理解と、ものづくりのダイナミックな現場をライブで見てもらうため、支部独自に現場見学会受入可能一覧表を作成し、中国5県の大学・高専・工業高校に郵送することで、学校カリキュラムに組み入れた現場見学会の参加を呼びかけている。

同日建連中国支部は中国地方整備局や業界団体等で構成する中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のHPから会員の見学可能な現場情報を発信しているほか、建設業の魅力発信を重点事業と位置付け、学生や一般の人に建設業の正しい理解と、ものづくりのダイナミックな現場をライブで見てもらうため、支部独自に現場見学会受入可能一覧表を作成し、中国5県の大学・高専・工業高校に郵送することで、学校カリキュラムに組み入れた現場見学会の参加を呼びかけている。

同日建連中国支部は中国地方整備局や業界団体等で構成する中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のHPから会員の見学可能な現場情報を発信しているほか、建設業の魅力発信を重点事業と位置付け、学生や一般の人に建設業の正しい理解と、ものづくりのダイナミックな現場をライブで見てもらうため、支部独自に現場見学会受入可能一覧表を作成し、中国5県の大学・高専・工業高校に郵送することで、学校カリキュラムに組み入れた現場見学会の参加を呼びかけている。

連部 笠岡工高
建支 生徒39人
日中 府中地区の揚水管新設現場見学

建設業の魅力体感

日本建設業連合会中国支部(木村晋支部長)は11日、広島県安芸郡府中町で施工中の「府中地区揚水管その他新設(2次)」の現場に、岡山県立笠岡工業高等学校の生徒39人を招いて見学会を開いた。生徒らは普段見ることができないシールド工法に目を輝かせ、建設業の魅力を感じた。

見学会は同日開かれた「建設技術フォーラム2016」の一環。開会にあたり、日建連中国支部の岩田正昭広報委員長が「建設業はものづくりが業界に入ってくれることを期待したい」とあいさつ。



あぐさしする内田所長



坑内を見学する生徒

続いて、施工を担当する銭高・錦JVの内田淳美所長が「土木はスケールの大きさだけでなく、緻密な部分もある。特に水道工事は生活に密着した縁の下の力持ち。さまざまな技術が駆使されている現場をじっくり見ていただきたい」と呼びかけた。

担当者から工事の目的や概要、シールド工法について説明を受けた後、発信基地に移動。実際に立坑を降り、坑内を見て回った。生徒は担当者の説明に真剣に耳を傾け、疑問に思ったことを積極的に質問していた。

発注者は広島市水道局。安芸郡府中町にある「府中浄水場」が老朽化していることから、将来の安定した給水を確保するため、平成30年度に広島市東区の「牛田浄水場」からの給水を切り替える工事を進めている。

工事概要は、一次覆工

(シールド)φ1401m・セメント外径2150mm、二次覆工(1666m・管布設工)鉄管口径500(600)mm、推進工事11m(鋼管径1100)、発進立坑1カ所(鋼矢板H7・74m)、到達立坑1カ所(ライナー径3m、H15・56m)、中間立坑1カ所(ライナー径3m、H8・85m)、地盤改良工一式、仮設工一式、付帯工一式。工期は26年12月2日から29年9月17日まで。

日建連では、将来の担い手確保・育成に向けて、中国地方整備局と業界団体等をつくる中国地区建設産業魅力発信推進連絡協議会のホームページから日建連会員の見学可能な現場情報を発信し、中国地区の大学・高校・高専に受け入れ一覧表を配るなど、授業のカリキュラムに取り入れた現場見学会の参加を呼びかけている。

平成28年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社)日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称	『出前講座』を開催
1. 実施時期	今年度は1回開催した。
2. 実施場所	広島工業大学
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	10月25日 広島工業大学環境土木工学科1年生・都市デザイン工学科3年 140名
4. 共催・単独等の状況	日建連中国支部単独で開催した。
5. 事業等の内容	学校に直接出向いて、日建連が作成した『シビルエンジニアの仕事』を聴講し、 施工事例の説明後に、学生と質疑応答を行い、学生にゼネコンの仕事と役割を 正しく理解してもらう。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	社会インフラの整備や国土の強靱化に欠かせない産業である土木は、とても 魅力ある産業ですが、世の中に十分理解されていません。是非多くの若者が 希望をもつて、目を輝かせて土木技術者になりたいと思って頂く為に、シビ ルエンジニアの役割、ゼネコンの仕事と役割をしっかりと理解して頂き、私 どもと一緒に働きたいと希望と夢を持った学生さんが我々の業界へ数多く 入職して頂けるようになることを期待している。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	平成29年度建設産業魅力発信の取組みも、『出前講座』の開催を予定。

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

連支 連支
建中 建中
日中 日中

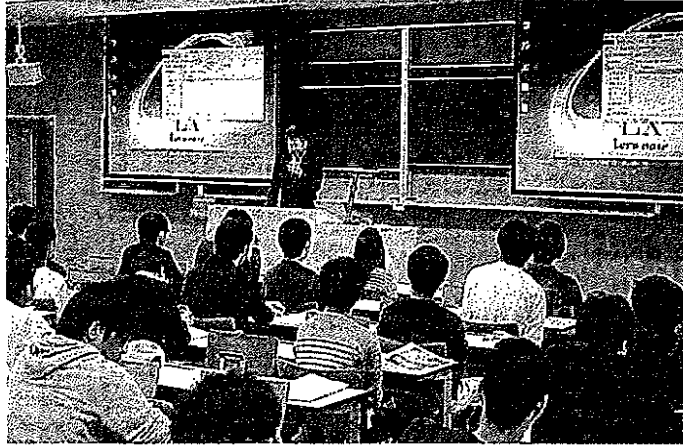
広島工業大で出前講座

土木とゼネコンの役割学ぶ

日本建設業連合会中国支部(木村普支部長)は25日、広島市佐伯区の広島工業大学で出前講座「シビルエンジニア(土木技

術者)の仕事」を開いた。土木を学ぶ都市デザイン

工学科3年生と環境土木工学科1年生が技術者の説明に耳を傾け、土木の



あいさつする木村支部長

魅力とゼネコンの仕事や役割を学んだ。

出前講座は日建連本部や支部が大学等に直接出向いて学生にゼネコンの

仕事と役割を説明し、正しく理解してもらい夢や

希望をもって若者の入職を増やしていく取り組み

の一環、最近では就職を控えた3年生だけでなく、

1年生にも対象を広げて早い段階で選択の判断材

料になる。

講義の冒頭、木村支部長が「土木の技術や社会

への貢献など現実味を持って感じてほしい。建設業は災害復旧等の一役

を担い、国民の生活を安全・安心、快適に守っているのは土木そのもの。出前講座を契機に建設業の

魅力を感じてもらい、少しでも多くの学生が建設

業界に就職し、自分の力を試したいと思うことを期待する」とあいさつした。

講座では、ゼネコンの仕事を分かりやすくナレーションを加えたパワー

ポイント資料「シビルエンジニア(土木技術者)の仕事」を見ながら、これまでのプロジェクトや今後

携わるかもしれないプロジェクト、土木の魅力、ゼネコンで働く土木技術者の

1日の仕事内容、入社後の経歴や職場での役割

など、事例を交えながら説明した。

この後、総務企画委員会の丸山昭義委員長、紀

厚委員(上城佳之委員)が学生らと質疑応答し、学生

からは「入職する前に大学で経験しておくこと」「振動して良い点、良くない点」などの活発な質問

が挙がり、それぞれの経歴談や女性土木技術者の活躍等を紹介した。

(中建日報 H28.1027)

広工大で出前講座

日建連
中国支部



日本建設業連合会中国支部（木村晋支部長）は25日、広島市佐伯区の広島工業大学で出前講座を開いた。写真：就職を控える同大都市デザイン学科の3年生と、これから土木を学ぶ環境土木工学科の1年生が参加し、土木の仕事、魅力を再認識する機会となった。

冒頭あいさつした木村支部長は「国民の快適な生活、安全・安心を守っているのは皆土木と関係している」と述べた。今回の講座には、同支部総務企画委員会の丸山昭彦委員長と紀淳委員、上城佳之委員が講師として参加した。土木とはどんな仕事なの

さんが勉強している土木だ。ダムやトンネルなどの大規模構造物を自分がつくったんだと胸を張るにふさわしい仕事でもある」と土木の魅力を紹介し「少しでも多くの皆さんに就職していただき、自分の力を試してみたいと思ってもらえることを期待している」と述べた。

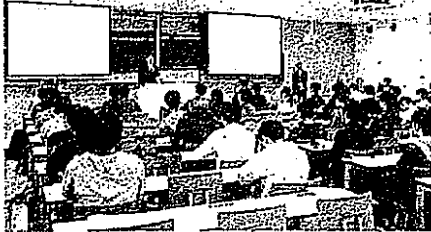
かという基本的なことから、リニア中央新幹線や東日本大震災復興事業、海外事業など数々の土木プロジェクトを紹介するビデオ『シビルエンジニア（土木技術者）の仕事』を放映したほか、講師たちがトンネルやダムなどの施工事例を説明した。

日建連中国が広島工大で出前講座

日本建設業連合会（日建連）中国支部（木村晋支部長）は25日、広島工業大学（広島市佐伯区三宅）で出前講座を行った。環境土木工学科1年生、都市デザイン工学科3年生約120人が参加。シビルエンジニア（土木技術者）の仕事やトンネル、ダムなどの土木技術について理解を深めるなど、建設業の魅力の一端に触れた。写真：講座に先立ち、木村支部

学生に土木の魅力紹介

長は「地域の安全・安心を担いながら、健全かつ持続的発展を遂げるため、夢と誇りが持てる業界となるよう取り組んでいる」と、日建連の活動や大規模災害への対応、役割などについて説明した上で「実際にどんな仕事をしているのか、社会にどう貢献しているのか、現実味を持って感じてほしい」とあいさつ。出前講座を機に「建設業に魅力を感じてもらう、少しでも多く



発展を支えるビッグプロジェクトに参加を

の皆さんが日本の発展を支えるビッグプロジェクトに参加していただきたい」と、少しでも多くの学生が建設業界へ就職してくれるよう呼び掛けた。

講座では、中国支部総務企画委員会委員長の丸山昭彦大成建設中国支店統括営業部長、企画委員の紀淳熊谷組中国支店営業部長、上城佳之興村組広島支店土木部長の3氏が講師となり、トンネルやダムの施工方法、技術などを事例交えて解説した。

平成28年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組実績

機関・団体等の名称

(一社)日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称	『建設技術フォーラム』に多くの学生を来場させる
1. 実施時期	11月11日～12日に『建設技術フォーラム2016in広島』が開催された。
2. 実施場所	広島中央公園
3. 対象者(参加見込又は参加者数)	子供・学生・社会人・一般の人
4. 共催・単独等の状況	主催は建設技術フォーラム実行委員会 協賛は日建連他14の業界団体 建設技術フォーラム実行委員会事務局は、中国地方整備局 企画部 技術管理課 日建連の支部長は建設技術フォーラムの実行委員長
5. 事業等の内容	建設業界は常に新しい技術開発に取り組んでいます。これらの最新技術を一堂に集め、多くの方々に紹介する事を目的として、開催されている。
6. 期待される効果(実施結果:効果)	中国地整と日建連中国支部が中心となって『建設技術フォーラム』を開催しています。日建連中国支部では、『建設技術フォーラム』は建設業の魅力を学生や一般の方々に知ってもらう重要な機会と捉え、広島近郊の大学・高専・工業高校に直接出向き、将来を担う学生に、より多く来場して頂けるようお願いを行い、又、中国5県の大学・高専・工業高校にも、開催案内を郵送し、多くの学生に来場して頂き、建設業の魅力発信に努めている。 (広島工業大学の一部の学科では、カリキュラムの一環として来場して頂いた)
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	平成29年度建設産業魅力発信の取組みも、『建設技術フォーラム』に多くの学生を来場させるを予定。

注1: 提出資料は電子データとしてください。

注2: パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

平成 28 年 10 月 20 日

学校関係者 各位

建設技術フォーラム実行委員長
(一社)日本建設業連合会 中国支部
支 部 長 木村 普

建設技術フォーラム実行副委員長
国土交通省中国地方整備局 企画部
技術調整管理官 猪森 正一

『建設技術フォーラム 2016in 広島』開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、格別のご支援とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

さて 今年も「建設技術フォーラム」が、広島市中央公園で開催されます。

今年の建設技術フォーラムは、「地域づくりを支える建設技術」・「動きはじめた『i-Construction』」をテーマに、最新の建設技術の展示や建設技術発表会も同時に実施します。

これを機会に多くの学生の方にご来場頂き、建設業の仕事が本当におもしろく、すばらしい事を理解して頂き、ものづくりの魅力を少しでも感じてもらえば幸いです。

ご多用中のところ恐れ入りますが、学生の皆様へご周知いただき、多数のご来場いただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時：11月11日(金) 10時00分～16時00分
12日(土) 9時30分～15時30分
2. 場所：広島市中央公園
3. 参加費：無料
4. 出展内容：別添の案内書をご参照願います。

以 上

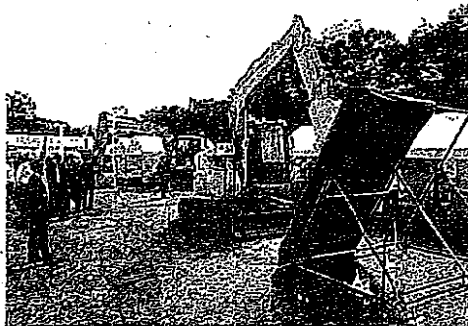
「i-Con」取り組み本格化 建設技術フォーラム開催 学生や家族連れらでにぎわう

実行委員会

建設技術フォーラム実行委員会(委員長・木村普日本建設業連合会中国支部長、事務局・中国地方整備局企画部技術管理課)は11・12日の2日間、広島市中区基町の広島中央公園で「建設技術フォーラム2016 in 広島」(地域づくりを支える建設技術)動きはじめ



テーブルカットのもよう



ICT建機の実演

初日は県立笠岡工業高校の学生による府中地区揚水管その他新設工事(2次)(広島市水道局発注、銭高・錦JV施工)の現場見学会も実施した。

た「i-Construction」を開催し、学生や家族連れなど多くの来場者でにぎわった。

オープンングセレモニーでは、木村委員長が「建設業界は技能労働者の高齢化が進み、担い手確保と生産性をいかに上げていくかが、喫緊の課題となる。国土交通省が提唱されるICTが本格的に動き出した。フォーラムでも屋外展示やセミナー発表、建設機械の屋外展示を通じて、担い手確保のため建設業の魅力を生かす一助となることを願っている」と述べた。

このフォーラムが大きな課題の解決に役立つことを願っている」と述べたあと、三上幸三広島県土木建築局長、宮原慎広島市都市整備局長、小石川武則中国建設弘済会企画部長ら出席者によるテーブルカットを行い、最新技術の祭典が開幕した。

フォーラムは、多発する自然災害への対応、安心して生活できる地域づくりを支える建設業は常に新しい技術の開発に取り組み、これらの建設技術を一同に集めて各ブース(屋内展示58、屋外展示4)で紹介した。屋外展示では、NEXCO西日本グループ(西日本高速道路メンテナンス中国)のけん引式バスオトイレカー、建設コンサルタンツ協会中国支部(筑谷建設)コンサルタンツのモバイルマップピン

i-Conテーマ に新技術を紹介

建設技術フォーラム広島

建設技術フォーラム実行委員会(事務局・中国地方整備局、委員長・木村普日本建設業連合会中国支部長)は11、12の両日、広島市中区基町の広島中央公園で「建設技術フォーラム2016 in 広島」を開催した。こころは「地域づくりを支える建設技術」動きはじめた「i-Construction」をテーマに、建設関係企業や団体、行政など58ブースで社会資本整備を支える新技術が紹介された。

11日のオープンングセレモニーでは、実行委員長の木村支部長があいさつに立ち、「新技術の発展やセミナーなど、来場の皆さまにとって有益な機会になるものと確信している。担い手確保のために建設業の魅力を学生、一般の方々に正しく理解していただくことを期待している」と述べた。

これを受けて事務局を代表して中国地方整備局の丸山隆英局長があいさつし「このテーマであるi-Conは、生産性を上げていくためのキーとなるもの。実現に向けては、さまざまな技術が必要であることは言うまでもないが、このフォーラムが課題を解決するために一つでも役立つことを願っている」と期待を示した。



中国整備局ら 建設技術フォーラム in 広島
地域づくりを支える技術紹介



ICT建機デモも

建設技術フォーラム実行委員会(委員長・木村晋日本建設業連合会中国支部長、事務局・中国地方整備局)は11、12の両日、広島市中区の広島中央公園で建設技術フォーラム2016 in 広島を開催した。「地域づくりを支える建設技術」をメインテーマ、「動き始めたICT Construction」をサブテーマに、建設関連企業や団体、行政、大学らが中国地方の社会資本整備を支える最先端技術や研究成果を紹介した。初日のオープニングセレ

モニーでは、木村委員長が「このフォーラムは、建設業の魅力を学生や一般の方々に正しく理解していただく大事な機会。多くの方に、ものづく

りの魅力を体感していただき、将来われわれの業界に多くの方が入職されることを期待する」、中国整備局の丸山隆英局長が「防災対策や生産性向上のキーとなるのが、今回テーマとしたICT Construction。その実現のためにはさまざまな技術が必要となる。このフォーラムが課題解決へ役立つことを願っている」とあいさつした。引き続き、木村委員長、丸山局長、広島県の三上幸三土木建築局長、広島市の宮原慎都市整備局長、中国建設弘済会の小石川武則企画本部長の5氏がテープカットを行った。写真。会場では、屋内展示58ブース、屋外展示4ブースで最先端のICT(情報通信技術)など地域づくりを支える建設技術や、ICT建設機械のデモンストレーションなどが行われ、来場者の注目を集めた。

平成28年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社)日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称	『広報誌』により、建設業界のイメージアップを図る
1. 実施時期 日建連中国支部の広報誌『建設中国』は毎年3月に発刊。 2. 実施場所 3. 対象者（配布先） 日建連会員企業・官公庁・学校・一般・現場見学会の見学者・出前講座の受講者・日建連主催の講習会の受講者やマスコミ関係者等に配布している。 4. 共催・単独等の状況 5. 事業等の内容 広報誌『建設中国』は、毎年3月に発刊し、日建連中国支部の活動の紹介、日建連会員企業の現場紹介、現場見学会レポートや特集記事で編集されている。 6. 期待される効果（実施結果：効果） 今回の特集記事では、「女性技術者が現場を変える!工事現場で活躍している『けんせつ小町』」を掲載し、工事現場で活躍している4名の女性技術者の仕事を紹介しました。このような広報活動を通じて、学生や一般の方々に対して、女性でも建設業界で大いに活躍できることをアピールし、建設業界のイメージアップを図っています。(本年3月発刊の建設中国では6名の女性技術者を掲載予定) 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 8. その他 平成29年度建設産業魅力発信の取組みも、『広報誌』により、建設業界のイメージアップを図る予定。	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。



高校からの友人と夏フェスに出かけた時の一瞬。海辺のフェスで、真っ真に日焼けしりましたが、楽しかったです。お持ち帰りアイテムもたくさんありました。



現場は常に変化していくので、ちょっとした変化も目撃できる。常に目を凝らさなくては、現場の状況を知っている。

現場ルポ 女性技術者が現場を変える!

工事現場で活躍 けんせつ小町

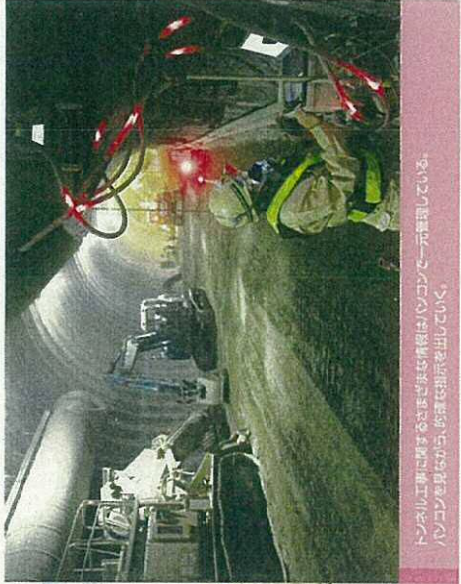
「けんせつ小町」とは建設業で活躍する女性技術者・技術者の愛称。2014年10月、スタートに「建設」と、美しく聡明な女性を表現した「小町」の組み合わせ、建設業界の呼称として解りやすく、時代に左右されない愛称であることから決定しました。そこで、今まさに現場で活躍されている「けんせつ小町」の皆さんを取材してきました。

ものづくりの世界へ もっと女性に参加してほしい。

編集部* これからの目標は何ですか？
竹 村* 工事の新しいトーンネルに携わることができたのは、将来必ず役立つと思います。山岳トンネルを熟知している職人さんからいろいろ学びながら他の現場を動かしていきたいですね。
編集部* 量産後にけんせつ小町を目指す学生の皆さんにアドバイスをお願いします。
竹 村* 机上の勉強と現場は違いますが、大学で習ったことは知ってはおいて損はありません。特に力学や材料学は必須の知識。大学時代はもっと真剣に授業に取り組んだほうがいいと思います。5年前の私に言っておけばいいですね。

は充分に気づける必要があります。だからこそ、皆で強い仲間意識をもつことが大切ですね。
編集部* この業界に進んだきっかけを教えてください。
竹 村* 新しい道路や橋、建物を見るのが小さい頃から大好きでした。だから見るだけでいろいろな構造物がどのように作られているのか興味があるようになりました。大学進学の際は建築と土木のどちらに進学するか迷ったのですが、地元の残る仕事なら土木かなと。山口大学は全国でも珍しいトーンネルの研究室があったので、より知識を深めることができました。山岳トンネルはほかの構造物と違い、山の力をかりてできているところがとても面白いのです。

現場で学んだ多くのことが 自分自身を成長させてくれる。
編集部* 具体的な仕事内容を教えてください。
竹 村* 山岳トンネル工事の施工管理として、トンネル坑内の測量はもちろん、近隣の民家への騒音や振動の計測を行いながら、スムーズに掘削が進められるように管理、指導を行っています。休山トンネルは、2メートル幅に車が通行しているトンネルがあり、トンネル上には民家が位置している特殊な場所なので現場でもとても緊張が伝わります。
編集部* 最近の現場の印象を教えてください。
竹 村* 大きな工事であるほどちょっとした手配りでも工期に影響があるので、常に緊張感をもって取り組んでいます。また、トンネルという限られた空間の中で、工事を行うため、現場の方の安全に



トンネル工事に関するさまざまな情報はパソコンで一元管理している。パソコンを見ながら、的確な指示を出している。



施工現場のパソコンでまとめた現場写真を確認する。もちろん大切な、現場で取れた大切な写真も。

山の力をかりて建造していく 山岳トンネルに魅力を感じこの世界に。

西松建設株式会社 土木部

竹村 いずみさん

※たけむら いずみ
 山口大学大学院工学部社会建設工学専攻、2012年入学。設計部トーンネル設計などの仕事をしていたが、2015年6月から「山岳トンネル工事」に施工管理として転属。

現場情報

- 工事名称 山岳トンネル工事
- 工事場所 県和庄町〜阿武野町2丁目地内
- 発注者 国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所
- 施工者 西松建設株式会社 山岳トンネル部
- 工期 2014年9月27日〜2017年3月31日
- 工事概要 構造部トーンネル掘削、土質改良、トンネル掘削工事(掘削機)掘削機、トンネル掘削機(掘削機)

なぜ計算通りにいかないのか、パソコン解析はもろもろ、現場で地盤と経験と知識を頼んで理解を深めていくことで、自分なりの答えを見つけています。

編集部* 男性の多い現場に対して不安はありませんか？
竹 村* 多少の不安はありました。でも現場で働きたいという思いが強かったため、期待が大きかったです。大学の研究室でも女性一人だったので、男性が多い現場にあまり抵抗は感じません。編集部が仕事をすると、心がけてくれることを教

地図に残る仕事かしたい。 大学では山岳トンネルの研究に没頭。
編集部* 現場に働くようになって、建設業界へのイメージは変わりましたか？
竹 村* 入社して3年間所属していた設計部時代に、大きな構造物は、非常に細やかな設計によって成り立っていることを知り、驚きました。編集部が初めての現場は、いろいろあります。トーンネルのように大規模な構造物の場合、実際の現場では計算通りにいかないことも多いです。



生活の基盤に携わって、貢献できる
やりがいの大きい仕事です。

前田建設工業株式会社 中国支店
建設課

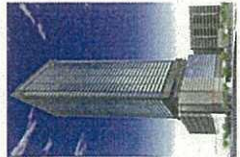
足立 有希さん

あがたし ゆき
京都府宇治市宇治 1996年入社、8年間現場
出身。大学卒業後、宇治市に本社出向し、2014年4月より広島県
口Bプロジェクト第一棟市街地開発事業建設事務所工事
に品質管理担当として配属。



現場情報

- 工事名称 広島県府中Bプロジェクト第一棟市街地開発事業
- 工事場所 広島市南区区役所5階、6階、7階、8階の全面、9階及び10階の一部
広島市南区区役所建設事務所の全面、7階及び10階の一部
- 発注者 広島県府中Bプロジェクト市街地開発開発組合
- 施工者 前田建設工業株式会社 中国支店
- 工期 2013年3月～2016年6月
- 工事概要 構造地下2階地上52階（一部10階建）
鉄筋コンクリート造+鉄骨造、
一部鉄骨高層コンクリート造、中間免震構造
敷地面積14,612㎡



苦労した工程が終わって次の段階に
作業が進んだときはとても嬉しいですね。

編集部*現在の仕事内容を教えてください。

足立*主に品質管理を担当しています。具
体的には工程内で自主検査を実施したり、
是正指示、監理者への対応、品質に関わる工
ピディングを放すといったことを行っています。

現在携わっているビルは監理者の方が常駐。
抽出検査ではなく全数検査を行っているとい
うこともあり、一瞬たりとも気が抜けません。苦
労した工程が終わって、次のステップに進んだ
ときはとてもやりがいを感じますね。

編集部*この業界を選ばれたきっかけはなん
だったのですか？

足立*学生時代に仲間とロフトハウスを建て
たりして、建築、特にものづくりの面白さを肌で
感じたこともあり、人間が生きていくうえで
欠かすことのできないインフラに携わることに
大きな魅力を感じました。

編集部*男性の多い職場だと思っただけが不
安はありましたか？

足立*女性だからという不安はありませんで
した。会社サイズも困っていることはない、ヒア

女性ならではの感性や能力を
最大限に活かして仕事をしています。

リングなどとして、環境面もほとんど整ってき
ているなど実感しています。ただ、建築現場のモ
ジュールがそもそも男性基準。例えばデッキ
ラフ一つとっても、女性だと足幅の幅が広すぎ
て歩くと足が落ちてしまうんです。現場で使う資
材の設計から変わって、もっと女性性が
働きやすくなるかもしれないですね。

編集部*女性ならではの視点や感性が派立っ
ていると感じますか？

足立*現場では作業員の方の安全が第一。
朝礼のとき、できる限り全員の色や表情を見
て、具合が悪そうな方には声をかけるように心
掛けています。



現場で定例会があったときは、工事担当者など同
僚と定例会に顔合わせを行っています。

また何か問題が発生したときに、意外に冷静に
物事をみることができ、最優先事項を臨時に判
断して的確に指示が出せるのも、女性ならではの
感性が活かせるのかなと思います。

編集部*反対に大変なことはありますか？

足立*体力的にはやはり大変です。現場で
はエレベーターを待つ時間が増えることもしばしば
30階以上の階段を上がり降りすることもしばしば。
上司には「足立さん、意外とタフだね」とよく
言われます。本社で内勤しているときも、ハー
マラソンに挑戦するなど、体は鍛えています。が、
マラソンに挑戦するとき、心がけています。

編集部*仕事をすると、心がけていることを教
えてください。

足立*新入社員のとこ、配属された現場の
所長に「仕事は立場ですもの」と言われた
ことがあったんです。それからは自分が何を求
められているのかを常に考えるようになりました。
品質管理という立場の作業員さんに対しては、品
質管理とやら立場で言うべきことは言わなくて
はなりません。立場も仕事を先に進めたいので、
時には強い口調になることも。互いの立場を理
解するために、普段から作業員の方々のコ
ミュニケーションはととても大切にしています。



職員は毎月転任している人が多く、食卓が不規則になりがち。月に一度
は定例会と称して朝ハッピーミーティングを行っています。平日のメンバーが「モツ鍋」



品質管理のモチベーションは、担当責任者に毎日指示内容を出していく、自分は今、何を求められて
いるのか常に考えながら仕事をすることが足立さんのモットー。

建物を変える配役の移り、
配役の転任を繰り返すのが
本プロジェクトです。

グローバル化に対応できるような
人材を目指しています。

編集部*キャリアアップのために取り組んでい
ることがあれば教えてください。

足立*建設の仕事もグローバル化が求めら
れている時代です。海外に出ていくのに英語力
は最低限必要だなと感じています。また、リベラ
リアーツを学ぶために、会社から1年間学校に
行って勉強しました。世界に出ていく中で様々な
価値観を理解するためにも幅広い知識を身
につけることはとても大切だと感じています。

編集部*最後にけんせつ小町を目標とする学生
の皆さんにアドバイスをお願いします。

足立*建設業界といっても、現場管理や設
計、営業など業務内容は多岐にわたります。一
つのことに挑戦してダメでも、ものづくりに
様々なアプローチがありするので、あきらめな
い。生活の基盤となるものを作りたいという熱
い思いを忘れず頑張ってくださいね。

工場の自主研修ももちろん、工事現場の調整
や社内研修も積極的に参加している。

女性としての視点を生かして 建物の建設に挑みます。



とがもり



株式会社農林組 広島支店
建設部
高森 真理子さん
けんせつ小町
KENSETSU KOMACHI



現場情報
■ 工事名称 府中中央小学校校舎改築工事
■ 工事現場所 広島県安芸郡府中町浜田2-6-1
■ 発注者 広島県安芸郡府中町
■ 施工者 株式会社農林組
■ 工事概要 構造RC造、鉄骨S造、3階建て
延床面積9,013㎡、延床面積7,638.02㎡

男性が圧倒的多数占める職場ですが、「キツイ」というイメージはありません。

建設部*女性の一人というのですが、どのような仕事を担当されているのですか。
高森*建物を建設する中で、電気設備、衛生・空調など機械設備工事に関する施工管理を担当しています。具体的には、担当工種の施工図面を確認し、その図面通りに施工されています。また、事業主や設計監理者、協力会社の方と工程や品質について打合せも行います。

「現場の品質管理を行うためには、細かな打合せが欠かせない」と話す高森さん。「建物のものはつくるとは、必要に応じて作業内容を変更する必要があるんです。その時は与えられた工程の中で工程を調整し、行うことになり、必ずしも予定通りに進められないように、現場から作業員の方とのコミュニケーション（ミーティング）を大切にしています。」



女性の視点が現場で 生かされていることを実感。

建設部*女性としての意見を求められることもあるのですか。
高森*普段の仕事の中では女性であること特に意識していませんが、女性スタッフが多い福祉施設等の建物を担当した時は男性の技術者から「どう思う?」と聞かれることがあります。その場合は女性の視点を生かして、使用者の立場から提案することもあります。

建設部*目標としている先輩はいませんか。
高森*はいいます。女性技術者の先輩で、2人のお子さんを育てながら、現在、当社の九州支店社屋・新築工事の工事所長として活躍しています。私もこうなりたいと思うことがこれの先輩です。

建設部*「女子パパー」のような活動があるとお聞きました。どのような活動ですか。
高森*女性社員が現場を訪れて、地域の負担軽減や現場の安全、環境美化などについてアドバイスする活動のことで、これまでの男性中心の職場運営に新しい考え方を導入して、よりよい現場づくりにつなげています。

キャリアアップのために資格を取得。
建設部*これから目標や夢を教えてください。
高森*現場で適切に指示するためには、しっかりとした知識が欠かせません。そのため管工事・電気工事の1級施工管理技士の資格を取得しました。特に、電気は大学でも専攻していなかったのですが、勉強は大変でした。

建設部*これからどんな自分になっていきたいと考えていますか。
高森*建設業界は女性にとっても面白いイメージが強いので、そのイメージを壊さないでいきたいです。建設部*大変なお仕事ですが、プライベートでは何をされていますか。
高森*一番は旅行です。一生懸命頑張った自分へのご褒美として、国内ばかりになりませんが、いろいろな場所を訪れています。次はどこに行こうか現在計画中です。

建設部*学生の皆さんにエールをお願いします。
高森*建設業界と一口に言っても職種が多いため、関わり方もたくさんあります。きっと自分が得意とすることを生かせる分野があるので、学生の皆さんは会社説明会や先輩などから多くの情報を得て、「自分に合った会社」を見つけていただきたいと思っています。



工場の建設や修繕からの帰路を毎日チャック。「現場所よりも現場で勤務することが多い」と話す高森さんは、持ち手型の車庫のときは車で現場中心の勤務を繰り返す。



上野も同車もみな親切で乗り心地が良いという新行。高森さんにとっても、相打ちや早く、乗せやまうは重なり、高森さんの次の勤務先は予定で後任計画中。



細やかな注意を払って施工品質をチャック。「設計図面とおりに現場が仕上がっている」と、施工全体に誇りを持っているので、気が抜けませんと話す高森さん。



建物が完成するまで携われる
建設の仕事に誇りを持っています。

株式会社西各組 中国支店
建築部(直轄作業所)

池田 真央さん

※いけだ まお※
広島大学工学部卒、2013年入社。2015年5月からアパホテル<広島駅前大橋>新築工事に施工管理として配属。現在一級建築士の資格取得に向けて勉強中。



現場情報

- 工事名称 (仮称)アパホテル<広島駅前大橋>新築工事
- 工事場所 広島県広島市南区宮島町2番4号
- 発注者 アパ株式会社
- 施工業者 株式会社西各組 中国支店
- 工期 2015年2月1日~2016年9月15日
- 工事概要 構造鉄骨造
階数地上14階、地下1階建
建築面積:1,216.00㎡
総床面積:14,325.20㎡



小さい頃からの夢が現実。
大好きな仕事に携われて幸せです。

編集部※現在の仕事内容を教えてください。
池田※工事の工程や安全管理などを行う施工管理を担当しています。設計図面とおり施工が行われているか測量を行ったり、品質に関わるエピソードを渡すため報告書を作成したりするのが主な仕事。今年の5月から初めて現場に配属になったので、先輩に教えていただいたことが頭張っています。苦労した工程が無事終わったときは、とてもやりがいを感じますね。
池田※中学のとき、授業で木製のボックスとドット絵を作ったんです。デザインを考えて、自分で書いた設計図面とおり木材をカットして釘を打つという作業がとても楽しかった。その授業がきっかけで建築に対して興味を持ちました。両親には「大工になりたい」と言ったこともあったんですよ(笑)。
編集部※施工管理を選ばれたのは？
池田※大学の講義で工事現場を見学させていただいたのですが、建物が完成まで見届けられるのが施工管理という職種に強く憧れを抱きました。



一日の工事の工程をスタッフと共有するミーティング。「建物の建法には多くの人が関わります。お互いの状況を確認しておくことで双方の意図にも対応できるようになります」と池田さん。

編集部※男性の多い職場だと思うのですが不安はありませんか？
池田※最初はやはり不安でしたが、職人や先輩たちが優しく、工事現場はとも動きますので大丈夫です。まだまだ分からないことが多いので、先輩の動きを見て学んでいる最中ですが、施工管理の仕事はどのようなものか、自分は今月で3年かかると考えています。

コミュニケーションを大切に、先を見据えて仕事をしています。

編集部※働くようになって、建設業界へのイメージは変わりましたか？
池田※建設業界といえはクレームや重機を動かして、機械で建物を建てるイメージでした。でも、実際に現場へ入ってみると、建物は人の手によって造られているんだなと強く感じます。職人の長年の経験と技術によって、ひとつの建物が完成することとても感謝を感じました。
編集部※女性ならではの視点や感性が役立つと感じることはありますか？
池田※職人に指示を出すときに資料も一緒に渡すのですが、誰が見ても分かりやすくまとめるようにしています。今後は、現場の中で女性の視

点や感性をもっと活かしていきたいですね。
編集部※仕事をすると、心がけていることを教えてください。
池田※この仕事は、職人さんとのコミュニケーションがととても大切。女性には話しにくいという方もいらっしゃるのですが、自分から積極的に挨拶したり、声をかけるようにしています。それと、所長から「自分のことだけでなく先を見据えた仕事をできるように」と教えていただいたので、なるべく早めに行動するよう努力しています。

一級建築士の資格取得に向けて
休日には学校に通って勉強中。

編集部※キャリアアップのために取り組んでいることがあれば教えてください。
池田※一級建築士の資格取得に向けて、学校に通っています。今後は、現場の中で女性の視

校に通っています。勉強の内容は現場を管理する上で必要なことばかりなので、仕事でも役立つ

編集部※目標としている先輩はいらっしゃいますか？
池田※副所長をされている女性の先輩に憧れています。工事の重要な部分に携わっている方なので、見習う所がたくさんあります。私も現場でたくさんのお話を学び、「仕事に対する責任と自覚を身につけたいですね」。

編集部※最後にけんせつ小町を目指すす学生の方にアドバイスををお願いします。
池田※建設業界は厳しいけれどもたくさんありますが、自分自身を成長させてくれます。同じ志を持った皆さんと一緒にものづくりができる日を楽しみにしています。一緒に頑張ってくださいよ！



建物の骨組みとなる鉄骨の施工では、柱と柱の距離などを厳密に計っています。少しのずれも全体の工事に影響する必要があるため、1つひとつが積み重なっていく姿を見ることが楽しく、モチベーションに繋がります！

現場でのミーティングもよし、池田さんの熱心な仕事ぶりに現場のスタッフも賞賛。

工事の進捗や品質を確保するために、詳細した資料を整理して池田さん。現場の方々に資料を見せながら説明しています。

建築を多くの人が好きで、休日には好き嫌いをアパホテルさんのイベントに出かけたりしています。